

トソー株式会社

(東証2部 証券コード：5956)



株主・投資家のみなさまへ

第78期（2018年3月期）のご報告
2017年4月1日～2018年3月31日

窓辺をかえる、明日が変わる。

TOSO



トップメッセージ

第78期（2018年3月期）の事業概況

ポイント

- 2016年4月よりスタートした新経営ビジョン「Vision2025」第1フェーズ（2016～2019年度）の2期目が終了。
- 新設住宅着工戸数が3年ぶりに減少した中で、売上高はほぼ前期並みの水準を維持したものの、原材料価格の上昇や物流費の高騰等による影響を受け、各段階利益は減少。
- 期末配当については、安定配当を維持する基本方針に沿い、1株5円を決定。

平素は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、当社グループは2018年3月31日をもって第78期（2018年3月期：2017年4月1日から2018年3月31日）を終了いたしましたので、ここに事業の概況および決算の状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 **大槻保人**

目次

CONTENTS

トップメッセージ	1
2018年3月期のセグメント別営業概況	3
特集	5
TOPICS	7
株主優待／株主配当	8
連結財務諸表（要旨）	9
会社概要／株式情報	10

7 第78期（2018年3月期）の事業概況

当期（2017年4月1日～2018年3月31日）におきましては、世界的な企業業績の拡大等により、緩やかな回復基調にて推移いたしました。保護主義の広がりによる貿易摩擦への懸念等、堅調な世界経済に影響を与えるリスクが高まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ事業に関連の深い建設市場におきましては、非住宅向けの建築着工床面積が前年同期を上回る水準で推移したものの、新設住宅着工戸数は7月以降9カ月連続で前年同月を下回り、取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは主力の住宅分野深耕とあわせて非住宅分野への営業活動を積極的に展開し、「Vision2025」の実現に向けた取り組みを進めております。非住宅向けの建築着工床面積が前年同

期を上回る水準で推移する中、ホテル等の非住宅分野の需要獲得を推進し、海外事業では中国をはじめとするアジアで販売が拡大しました。一方で、新設住宅着工戸数が3年ぶりに減少に転じるなど、国内住宅市場の落ち込みによる影響を受けました。これらの結果、当期の**売上高は前年同期を0.0%下回る22,471百万円**となりました。

利益面では、不採算品の見直しや原価低減活動に努めましたが、アルミを中心とした原材料価格の上昇や物流費の高騰等の影響を受け、**営業利益は795百万円（前期比21.0%減少）、経常利益は806百万円（前期比19.3%減少）**となりました。また、前期に厚生年金基金解散損失引当金戻入額等の特別利益計上があり、**親会社株主に帰属する当期純利益は507百万円（前期比27.8%減少）**となりました。

売上高

22,471百万円

営業利益

795百万円

経常利益

806百万円

2 第79期（2019年3月期）の見通し

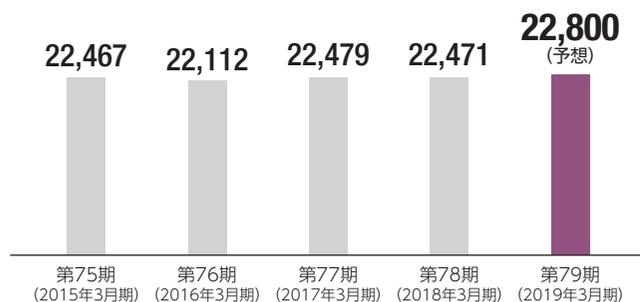
市場環境としましては、世界的な景気拡大を背景に、緩やかな回復基調が続くと見込まれるものの、住宅市場の落ち込みや物流コストの上昇等が引き続き見込まれるなど、当社グループを取り巻く事業環境は不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループとしましては、経営ビジョン「Vision 2025」の実現に向け、高付加価値型新製品の提案および物流事業に対応したラインナップ見直し等、新製品開発力や市場への対応力を強化し、引き続き住宅分野

の深耕と成長領域（非住宅分野、海外事業、新規分野）への取り組みを推進してまいります。また、原価低減については、新組織「ものづくり改革室」を中心とした製品のモデルチェンジや生産工程見直しなどへの取り組みを進め、高収益体質への転換と競争力強化に努めてまいります。第79期（2019年3月期）の業績につきましては、売上高22,800百万円、営業利益720百万円、経常利益730百万円、親会社株主に帰属する純利益470百万円を見込んでいます。

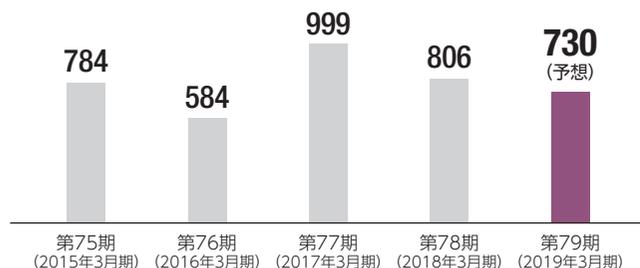
売上高

(単位：百万円)



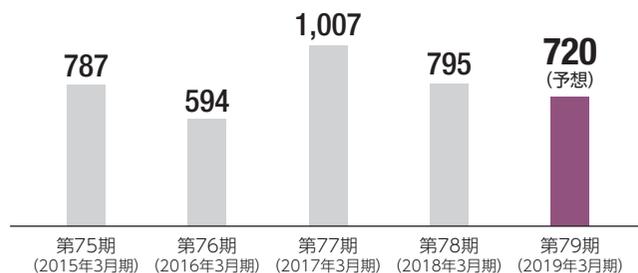
経常利益

(単位：百万円)



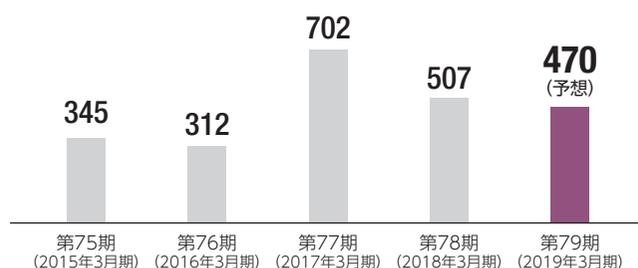
営業利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



3 当期の配当金について

当期の配当金につきましては、中間配当5円、期末配当5円、年間で10円といたしました。当社グループでは、「Vision2025」第1フェーズ（2016～2019年度）のスタートから2年が経過しました。3年目となる当期におきましては、引き続き中期経営計画の重点施策を着実に推進していくことで、多くの投資家の皆様に魅力を感じていただける企業となるよう努力してまいります。皆様からの一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

第78期（2018年3月期）配当について

中間配当金

5円

期末配当金

5円

合計（年間）

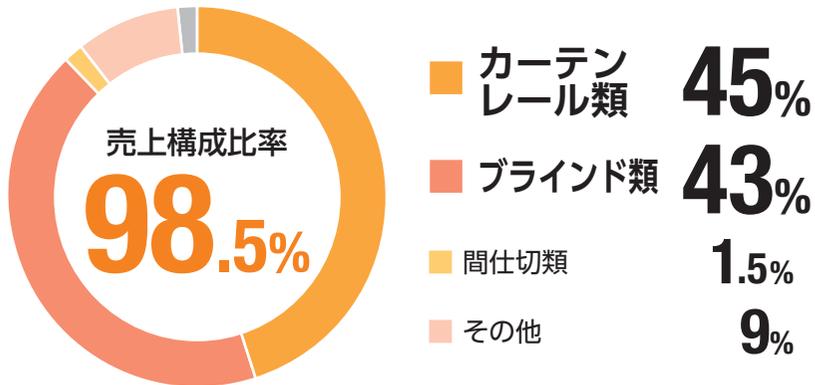
10円



詳細な決算説明を動画で公開しています。是非ご覧ください。

2018年3月期のセグメント別営業概況

室内装飾関連事業



事業内容

国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や室内間仕切類などを開発・製造・販売しています。



カーテンレール類 (装飾性カーテンレール)



ブラインド類 (アルミブラインド)



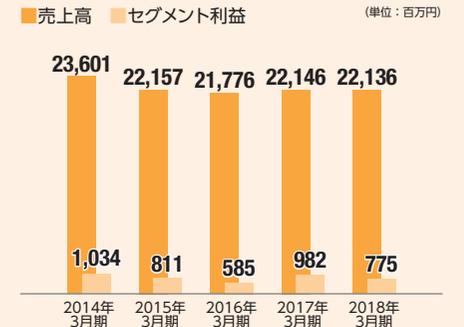
間仕切類 (アコーデオンドア)

売上高

221 億 36 百万円

セグメント利益

7 億 75 百万円



当期の営業概況

室内装飾関連事業の業績に影響の大きい住宅関連市場は、低金利の住宅ローン継続等により住宅取得環境は引き続き良好だったものの、新設住宅着工戸数が前期を2.8%下回り3年ぶりに減少に転じるなど、取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

こうした市場環境のなか、当社グループは新製品を中心とした展示会やカーテンメーカーの新作合同発表会である第11回「with Curtains」等のイベント開催、リフォーム市場や非住宅市場、海外市場への販路拡大等の営業活動を展開しました。しかしながら、国内住宅市場の低迷、原材料や物流コスト上昇などにより、売上高は前期をわずかに下回りました。

製品面では、カーテンレールでは、家具に使われる木材の色から考えられた木製カーテンレール「ノルディ 25」などの装飾カーテンレールのラインナップを強化したほか、装飾カーテンレール「クラスト 19」に大型窓への設置を可能とするブラケットスルー機構の追加などをおこないました。ブラインド類では、柔らかな質感と深みのある色合いを備え、カーテンと相性の良いスクリーンシリーズ「ルノファブ」を発売したほか、木製ブラインドやプリーツスクリーンで新しい色柄を追加するなどの新製品発売をおこないました。

セグメント利益は、原価低減活動や生産性向上の継続した推進に努めましたが、アルミ材を中心とした原材料価格の上昇や物流費の高騰が影響し、減益となりました。

カーテンレール
60年以上にわたり
国内シェア
No.1



家具に使われる木材の色から考えられた木製カーテンレール「ノルディ 25」

アッシュ色



オーク色



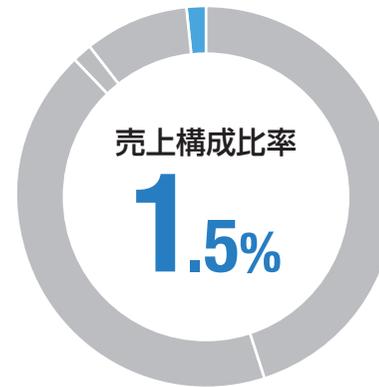
チェリー色



ウォールナット色



その他の事業



事業内容

ステッキを中心とした介護関連用品を開発、販売しております。そのほか、グループの物流事業請負業務をおこなっています。



売上高

3億35百万円

セグメント利益

20百万円

■売上高 ■セグメント利益 (単位:百万円)



当期の営業概況

ステッキを中心とした介護関連用品の販売活動や原価低減等を推進しました。しかしながら、物流関連事業におけるコスト上昇を受けた結果、売上高は前期を若干上回りましたが、セグメント利益は前期を下回りました。

特集 「Vision2025」 Phase1 (2016~2019年度) 中期経営計画 成長戦略紹介：「新規分野」 歩行支援介護ビジネスの拡大

中期経営計画 (Phase1 : 2016~2019年度) 2期目が終了

「Vision2025」 Phase1では、当社が得意とする住宅市場での事業基盤を固めながら、成長戦略である非住宅分野の拡大と海外事業の強化、新規分野でのビジネス領域の拡大を図ることで持続的な企業成長を目指しています。重点施策「成長戦略の軌道修正」では、非住宅分野の拡大や海外事業の強化において一定の成果が得られたものの、原材料価格の高止まりや物流費の大幅な上昇等の影響により、「高収益体質への転換」に向けた取り組みについて一層の推進が必要です。

Phase1の2年間の着手課題への対策を進め、
中期経営計画目標 (Phase1) の達成に向け、
引き続き中期経営計画の重点施策を
推進いたします。



連結経済指標	売上高	ROE
2017年度 (実績)	224億円	4.4%
2019年度 (目標)	240億円以上	6~8%以上

《重点施策》

高収益体質への転換

- 1 コアビジネスにおける経営資源の再評価
- 2 カーテンレール国内シェアNo.1戦略の徹底
- 3 バリューチェーン再構築

戦略ドメインの転換

- 1 強みを発揮できる事業領域へのシフト
- 2 投資効果を考慮した商品開発・生産体制・販売手法の見直し
- 3 商流の変化に対応した販売体制の構築

成長戦略の軌道修正

- 1 非住宅分野：宿泊、医療等の施設を中心とした物件獲得活動の強化
- 2 海外事業：アジアにおいて拡大するリテール分野でのビジネスモデル構築
- 3 新規分野：歩行支援介護ビジネス、特定企業向け用途開発・専用品供給の拡大

人材育成

- 1 ICT時代を牽引する次世代リーダーの育成
- 2 従業員の基礎知識向上を目指した実践的な育成体系作り

CLOSE UP

CLOSE UP

成長戦略：新規分野でのビジネス領域拡大

新規分野「歩行支援介護ビジネス 商品紹介」

当社グループは「Vision2025」Phase1中期経営計画の重点施策として成長戦略の軌道修正に取り組んでおります。

新規分野では、当社グループ子会社「フジホーム株式会社」にて、ステッキを中心とした歩行支援介護ビジネスを中心に推進しております。今回はその商品など、一部をご紹介します。

1 フジホームってどんな会社？

Walking Stick

ステッキはフジホーム。

フジホームは、歩行支援介護用品を中心として開発、販売するトナーのグループ子会社です。当社では、高齢化社会に対応した歩行支援介護用品を通じ、社会に貢献したいと考えています。

「いつまでも自分の脚で歩いて健康に」をテーマに、健康寿命延伸で人々の生活が少しでも快適になるようなモノづくりに取り組んでいます。



フジホーム(株)
岡野社長

3 注目のステッキ新商品は?!

「FLAMINGO (フラミンゴN)」



岡野社長の
目利き
コメント

お出掛けするのが
楽しくなるような
カラーリングがポ
イント!

驚きの軽さを実現した素敵なステッキをご用意しました!

4 岡野社長のイチ押し商品は?!

「かるがも®」シリーズ



▼かるがも®ファム
折畳S

岡野社長の
目利き
コメント

ステッキはグリップが重要!
かるがも®シリーズは、手の大きさに合わせて握りやすく疲れにくいグリップを採用し、多彩なラインナップを揃えています!



2 ステッキはどこで買えるの?!

総合スーパー

ホームセンター

ネット通販

介護ショップ



※フジホームのオンラインショップはこちら

総合スーパーやホームセンター、介護ショップなど、様々な場所でお求めいただけます。

もちろん、ネット通販でのお求めも可能です。

5 岡野社長のステッキ ワンポイント アドバイス

ステッキの長さの目安

【屋外で使用する場合】
身長÷2 + 3cm ※端数は切り上げ
例：身長が160cmなら、83cmとなります。

【屋内で使用する場合】
身長÷2 ※端数は切り上げ
例：身長が160cmなら、80cmとなります。

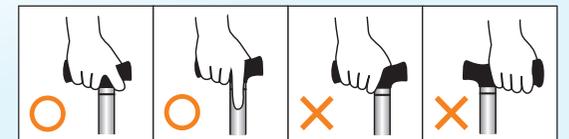


ステッキの長さ調節

ステッキの先をつま先から20cm前方に置いて、ひじを140~150度に曲げた時が最適な高さです。

ステッキの正しい持ち方

腕とステッキが一直線になるように持たないと、手首に負担がかかります。



5月 新製品展示会 「ウインドウファッションフェア2017」を開催

インテリア業界関係者向けの展示会「ウインドウファッションフェア2017」を今年は全国16都市で開催しました。「ウインドウファッションフェア」は、製品を実際に見て触れていただき、素材感や操作感などを体感できる機会を増やすことを目的として毎年開催しており、2017年で15回目となりました。今年は、家具に使われる木材の色から考えられた新しい木製カーテンレールやカーテンとの相性が抜群の新しいスクリーンシリーズ、その他最新のカーテンスタイルの事例展等、カーテンや家具等との調和を意識した展示と提案を行いました。また、展示会と同時に開催したインテリアセミナーでは、長年国内外のインテリアテキスタイルの傾向を調査分析してきたTDA（一般社団法人 日本テキスタイルデザイン協会）の理事長、副理事長を講師に招き、「国内ファブリックスメーカーのテキスタイル特長とトレンド活用術」をわかりやすく紹介しました。



10月 カーテンメーカーの合同発表会 「with Curtains 2017」を開催

「with Curtains」は、カーテンレールメーカーの当社だからこそ実現できるインテリアアテキスタイルの合同発表会。2017年で11回目を迎えました。日本を代表するインテリアアテキスタイルメーカー10社のマーケティング・商品開発担当者より、自社製品の開発背景やセールスポイント、コーディネート提案などを直接聞くことができます。当社はカーテンレールのトップメーカーとして、これからもカーテンとともに歩み、カーテンを楽しむ文化をより多くの人に広めていきたいと考えています。



11月 「インテリアトレンドショー 第36回JAPANTEX2017」へ出展

一般社団法人日本インテリアファブリックス協会の主催により東京ビッグサイトにて毎年開催されるインテリア業界最大の展示会「インテリアトレンドショー第36回JAPANTEX2017」に出展しました。2017年のコンセプトは「Interiorとしてのウインドウトリートメントーインテリア製品との調和」。新製品を中心に、インテリアの主演である家具やカーテンなどとのコーディネート事例の展示や、ベースとなる床やドアなどの建具に合わせたカーテンレールのラインナップ、宿泊、医療・福祉施設の用途に応じた製品などを展示し、窓辺の総合演出企業として幅広いラインナップを出品・提案しました。



8月 DIY産業向け展示会 「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2017」へ出展

国内外のDIY・ホームセンター関連商品を一堂に展示し、DIY産業の健全な振興・総合的發展を推進する展示会「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2017」に出展しました。2017年は、人気のピックアップレールやウォールステッカー、ウォールフォトを使用した壁のデコレーション提案や、夫婦や子どもの暮らしを彩る部屋づくり等、ルームリノベーションの提案をおこないました。



2月 「第46回国際ホテル・ レストラン・ショー」へ出展

東京ビッグサイトで2018年2月に開催された「第46回国際ホテル・レストラン・ショー」に出展しました。訪日観光客を迎えるホテル・旅館・外食施設のためのホスピタリティ、フードサービスに焦点をあてた展示会。デザイン性、機能性に優れたコントラクト（ホテル・レストラン等の施設）向けの窓周り製品を提案しました。



8月 「日経IR・投資フェア2017」 へ出展

東京ビッグサイトにて開催された個人投資家向けIRイベント「日経IR・投資フェア2017」（主催：日本経済新聞社）に出展しました。当社は展示ブース内で事業内容の紹介や経営ビジョン「Vision2025」、中期経営計画進捗状況等の説明をおこないました。今後も当社の企業価値向上に向けた有意義な情報を発信できるようにIR活動をおこなってまいります。



9月 「国際福祉機器展2017」 へ出展

東京ビッグサイトにて開催された介護・福祉・医療関連のメーカー及び卸業者が一堂に集結する「国際福祉機器展2017」に当社グループ子会社のフジホームが出展しました。2017年は、ステッキ等の歩行支援介護用品を中心に、新製品や参考出品を含めた豊富なラインナップを多数展示しました。今後もステッキNo.1を目指して積極的な事業展開を図ってまいります。



3月 「去年の冬、きみと別れ」に 美術協力（商品提供）

2018年3月10日より公開された映画「去年の冬、きみと別れ」に美術協力（商品提供）をおこないました。商品は、横型アルミブラインド「ニュースペーシィ35」色柄 TB-842（ブラック）を提供しています。



株主優待制度のご案内／株主配当のお知らせ

株主優待

当社では、株主様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、株主数の増加を図ることを目的に株主優待制度を設けています。

株主優待割当基準日 3月末日

ギフトカタログに記載された旬の食材や生活用品などの中から、お好みの品物を1点お選びいただけます。また、環境保全活動の一環としてインドネシア共和国における植林活動への寄付も設けています。



※対象株主様：毎年3月末日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主様を対象といたします。
 なお、2018年3月末日を割当基準日とする株主優待品のお申し込みは、2018年6月末日より9月末日とさせていただきますのでご了承くださいませようお願いいたします。

株主配当

配当方針

当社は、上場企業として株主の皆様への利益還元は重要な責務であり、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績および今後の設備投資計画などを勘案して利益配分をおこないたいと考えております。

今後とも収益力向上と財務体質の強化を図り、利益還元に努めてまいりますので、株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

1株あたり配当金の推移

	第77期 (2017年3月期)	第78期 (2018年3月期)
中間配当金	5円	5円
期末配当金	7円※	5円
合計（年間）	12円	10円

※2017年3月期期末配当金の内訳：普通配当5円、特別配当2円

インドネシア共和国における植林活動へ553,000円を寄付

第71期（2011年3月期）より、株主優待制度に当社子会社の所在地であるインドネシア共和国における「植林活動への寄付」を設けております。

ご協力いただきました皆様には、厚く御礼申し上げます。株主優待制度にお申し込みいただかなかった方々の優待相当額と合わせて、当期は553,000円を寄付させていただきました。

した。今後も株主の皆様とともに環境保全活動に努めてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

インドネシア共和国における植林活動実績
 累計本数 11,800本（2018年3月末日現在）

※株主の皆様による寄付および当社の植林活動を含めた実績です。



連結財務諸表 (要旨)

※連結財務諸表の数値は百万円以下を切り捨てて表示しています
(単位：百万円)

連結貸借対照表

POINT 1 資産の部 変動要因

資産合計は前期末と比較して223百万円減少し、20,836百万円となりました。

●流動資産は204百万円減少しました。

▼要因 売掛債権、棚卸資産等は増加したものの、現金及び預金等が減少

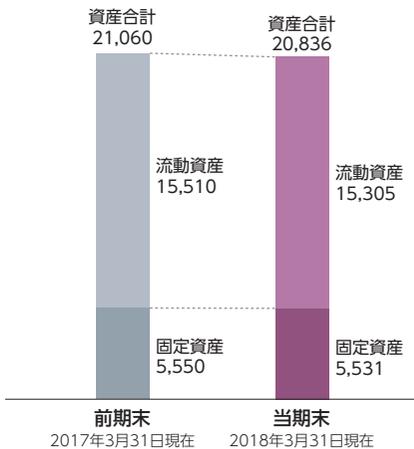
●固定資産は19百万円減少しました。

▼要因 投資有価証券等は増加したものの、有形固定資産・無形固定資産等が減少

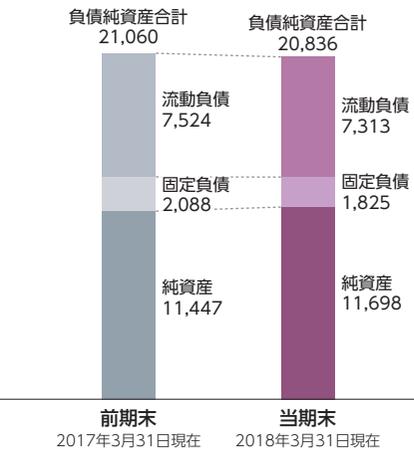
流動比率は209.3%と高水準を維持しています。



資産の部



負債・純資産の部



POINT 2 負債・純資産の部 変動要因

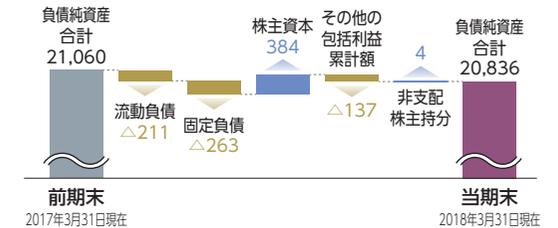
負債合計は前期末と比較して474百万円減少し、9,138百万円となりました。

▼要因 借入金、未払費用の減少など

純資産合計は前期末と比較して250百万円増加し、11,698百万円となりました。

▼要因 利益剰余金の増加など

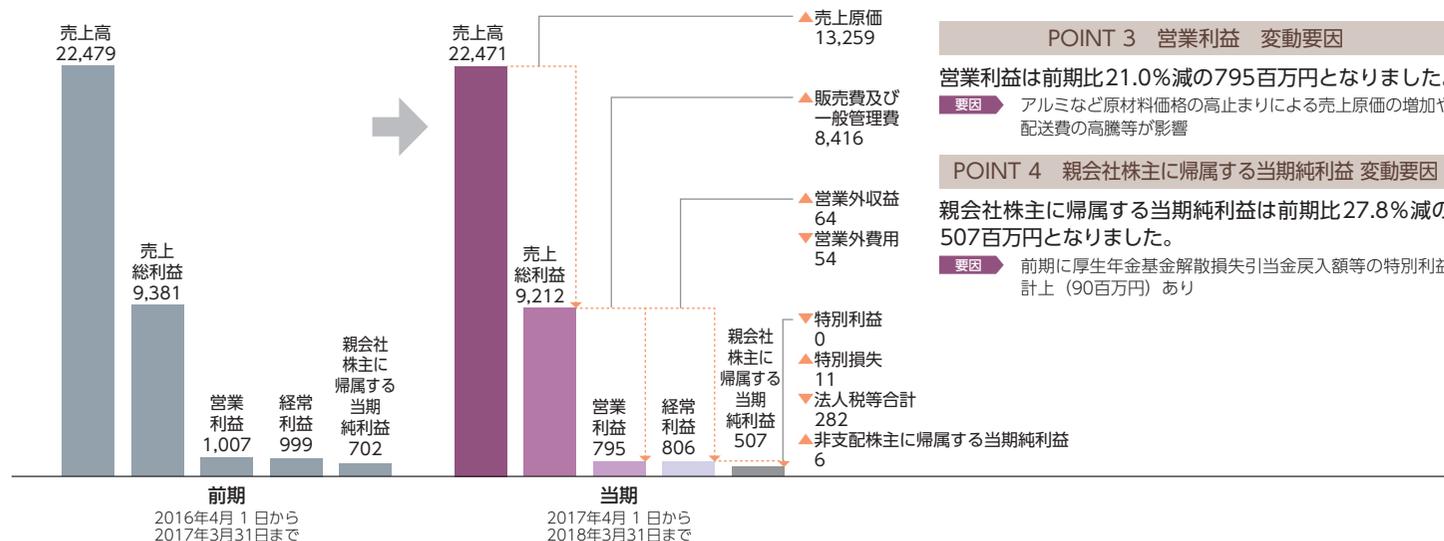
自己資本比率は、前期末と比較して1.8ポイント上昇し55.9%となり、健全な財務体質を維持しています。



(単位：百万円)

(単位：百万円)

連結損益計算書



POINT 3 営業利益 変動要因

営業利益は前期比21.0%減の795百万円となりました。

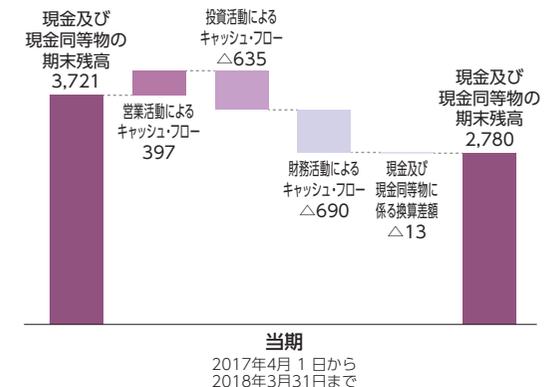
▼要因 アルミなど原材料価格の高止まりによる売上原価の増加や配送費の高騰等が影響

POINT 4 親会社株主に帰属する当期純利益 変動要因

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比27.8%減の507百万円となりました。

▼要因 前期に厚生年金基金解散損失引当金戻入額等の特別利益計上(90百万円)あり

連結キャッシュ・フロー計算書



詳細な情報は
こちら

TOSO IR資料

検索

会社概要 (2018年3月31日現在)

会社名 トーソー株式会社
 英文社名 TOSO CO.,LTD.
 本社所在地 〒104-0033
 東京都中央区新川一丁目4番9号

電話 03(3552)1211(代)

設立 1949年9月

資本金 11億7,000万円

主な事業内容 インテリア製品の開発、製造、販売
 国土交通大臣許可内装仕上工業業(般-28)第16989号
 ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部/品質保証部
 ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場

従業員数 連結924名 単体534名

【役員】 2018年6月27日現在

《取締役》

代表取締役社長	大槻保人 (オオツキ ヤスト)
取締役	前川圭二 (マエカワ ケイジ)
取締役	結束正 (ケツク タダシ)
取締役	庄中基秋 (ショウナカ モトアキ)
取締役	渡辺文生 (ワタナベ フミオ)
取締役	林淳之 (ハヤシ アツユキ)
取締役	久保田英司 (クボタ エイジ)
取締役(監査等委員)	森兼康博 (モリカネ ヤスヒロ)
社外取締役(監査等委員)	久保英幸 (クボ ヒデユキ)
社外取締役(監査等委員)	江角英樹 (エスミ ヒデキ)

《執行役員》

執行役員	本多敏光 (ホンダ トシミツ)
執行役員	堀住浩一 (ホリズミ ヒロイチ)
執行役員	八重島真人 (ヤエシマ マコト)
執行役員	栗山忠久 (クリヤマ タダヒサ)
執行役員	伊藤健一 (イトウ ケンイチ)

【事業拠点一覧】

営業拠点 札幌支店、仙台支店、さいたま支店、
 東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、
 広島支店、福岡支店
 営業所14カ所

国内工場 つくば工場(茨城県)、水海道工場(茨城県)、
 兵庫工場(兵庫県)

物流拠点 流通センター(茨城県)、
 流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、
 福岡配送センター

ショールーム トーソープラザ
 (東京ショールーム、大阪ショールーム)

連結子会社 サイレントグリス株式会社
 トーソーサービス株式会社
 フジホーム株式会社
 トーソー流通サービス株式会社
 P.T.トーソー・インダストリー・インドネシア
 東装窗飾(上海)有限公司



株式情報 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数 30,000,000株

発行済株式の総数 11,000,000株

(注)2017年11月13日付で実施した自己株式の消却により、発行済株式の総数は897,600株減少し、11,000,000株となりました。

株主数 10,707名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大槻保人	1,429	12.99
トーソー取引先持株会	504	4.59
トーソー社員持株会	463	4.21
株式会社みずほ銀行	458	4.16
十和運送株式会社	414	3.77
株式会社三菱東京UFJ銀行	338	3.07
第一生命保険株式会社	222	2.01
株式会社東京都市銀行	216	1.97
株式会社常陽銀行	215	1.95
みずほ信託銀行株式会社	200	1.81

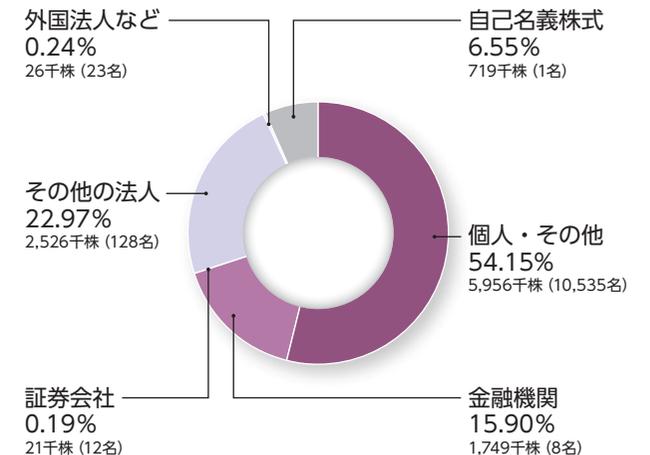
(注1)持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2)当社は自己株式719千株を保有しております。

(注3)株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

(注4)株式会社東京都市銀行は、平成30年5月1日付で株式会社八千代銀行、株式会社新銀行東京と合併し、株式会社きらぼし銀行に商号変更しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

ホームページアドレス <https://www.toso.co.jp>

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
東京都中央区八重洲一丁目2番1号

同連絡先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-288-324 (フリーダイヤル)
取次事務はみずほ信託銀行株式会社(トラストラウンジを除く)、株式会社みずほ銀行、みずほ証券株式会社(カスタマープラザを除く)の各本店でおこなっています。

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告をおこなう際には、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にておこなわれます。確定申告をおこなう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主様は大切に保管してください。

表紙の写真について 当社グループの製品写真および事例写真です。

①装飾カーテンレール 「ノルディ25」

シンプルでナチュラルなインテリア
にお薦めの最新の木製レールです。



②ブリーツスクリーン 「しおり25 チェーンシングル 一葉」(TP-7171)

和紙のような素材感と透け感のあるブ
リーツスクリーンです。



③ハンドレール ステッキ

手すり感覚で使用できる
ステッキです。



トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号

<https://www.toso.co.jp>

証券コード：5956



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。